

第3回産業分類検討チームの会議後に提出された意見
〔議題2（一般原則について）関係〕

○ 一般原則（分類の基準）関係

ISIC Rev.4 では、「原材料（インプット）」、「生産プロセスと技術」、「アウトプットの特徴」、「アウトプットの用途」の4つの分類基準（注1）が文章中に書かれており、また、下のレベル（小分類、細分類等）ではできるだけ生産プロセスでグループ化し、上位のレベルでは別の視点でと書かれていたと思います。

JSIC では、何を要素として書くのが課題であると考えられます。事務局が作成したいいくつかの修正素案のように、複数の要素を同じ行に書く必要はないと思います。要素は、原材料（インプット）、生産プロセスと技術、アウトプット関係の3つだと思うので、要素を箇条書きした上で、どのレベルで何を重要視するかなども文章中に書いてはいかがかと思います。

○ 統計単位関係

産業分類は活動の一様性を求めるので、できればKAU 単位（注2）が望ましいと思いますが、實際上、日本では事業所単位しかないと思います。

また、ISIC Rev.4 における「企業の活動は多くの小分類や細分類にわたるので、統計によっては企業の活動を中分類までで分類することがおそらく適切であろう。」との記載（注3）を参考にすると、JSIC において企業単位を適用する場合には、ISIC と同様にするのが良いのではないかと思います。ただし、中分類より下層のレベルにおいて分類が求められる場合には、付加価値のウェイトにより企業単位を使う旨がISIC Rev.4 にも書かれていたと思います。

以上から、日本標準産業分類では引き続き事業所単位とし、仮に企業単位を同分類に適用する場合には、中分類程度までの適用として、それ以下のレベルでは適用しない方が良いと思います。

（注1）4つの分類基準

ISIC Rev.4 の第1部 序論 第1章 概要の第7節 原則、定義、分類ルールからの引用は次のとおりである。

- ① the inputs of goods, services and factors of production（財、サービス及び生産要素のインプット）
- ② the process and technology of production（生産プロセスと技術）
- ③ the characteristics of outputs（アウトプットの特徴）
- ④ the use to which the outputs are put（アウトプットの用途）

（注2）KAU

Kind of Activity Unit の略であり、活動種類別の単位のことを指す。

（注3）統計単位（企業の分類）

ISIC Rev.4 の第1部 序論 第3章 分類の適用 C 統計単位の分類 第148節 企業の分類から引用。